

ハテマロ会 総会 議事録

文責：小島佳子(4/10 現在)

*太字：決定事項、グレー字：後日変更事項

日時：2017年3月25日(土) 15:00-18:00

場所：船橋市市民活動サポートセンターFACE

出席者：8名・スラズ、ラジブ、ゴータム、スクマン、小島、高井(～16:30)、菊池(16:00～)、
ラタ(17:00～)(敬称略)

【総会次第】

1. 開会：副会長・ラジブ シュレスタ
2. 挨拶：会長・スラズ プロダン
3. 議長選任：スクマン氏選出

4. 議題

(1) 2016年度活動報告：活動報告書(別紙1)にて、ラジブ氏より報告

→高井氏より、ハテマロ会が協力した千葉ユネスコ青年部のイベントにて、8/21の親子三代祭りでは約14500円、2/12の千葉市国際ふれあいフェスティバルでは約64500円の募金がユネスコに集まったとのご報告あり。

*詳細な活動報告は、随時MLに送り、HPにも掲載

(2) 2016年度決算報告：決算報告書(別紙2)にて、ラジブ氏より報告(議事中、一部訂正あり)

*最終決算は、HPに掲載予定

(3) 2017年度活動計画(案)：2016年度活動計画(案)(別紙3)にて、ラジブ氏より説明

1) ネパール震災復興支援活動

募金活動は2016年度で終了したため今後は基本的に行わず、2017年度は集めた資金の適切な活用に専念する。

①学校建設支援：グセル村「Shree Ghusel Secondary School スリーグセル中等学校(仮訳)」

(スクマン氏出身校)

グセル村側から見積りと設計図面が届き、平屋2室のみの離れ校舎建設に約80万円の見積りとのこと。(別団体から別校舎の再建支援計画もあるとのこと)現在、ハテマロ会から出せる資金は約55万円だが、スクマン氏が別の支援者からすでに約30万円預かっているため、それと合わせると建設可能。

→目に見える具体的支援のため、協力募金していただいた方々にも納得してもらえらるることから、ハテマロ会の震災復興支援資金を、このグセル村の離れ校舎建設に活用することにする。途中経過報告義務を課すために、送金は4・6月頃の2回に分けて行い、学校

側から領収書と途中経過報告を出してもらおう。2017 年内に建設終了が望ましい。

②寺院再建支援：バネパ村マハディヴ寺院（スラズ氏出身地）

スラズ氏：名前を刻印するレンガのサンプルを頼んでいるが、まだできていない。

→震災からまもなく 2 年が経ち、そろそろ支援を形にしないとイケない。

→学校再建支援のように、再建計画の中の一部をハテマロ会資金で負担するような形はできないか。→一部を整備しても、最終的に寺院が建たなければ無駄になる可能性もある。

→スラズ氏から、6 月頃までにもっと具体的な再建計画情報を出すよう、働きかける。

2) ハテマロイベント

①ハテマロ会ピクニック →6/3（土）に開催決定

②サメバジ・イベント →9/9（土）に開催決定

③理事会ミーティング（12 月頃）

④通常総会（2018 年 3 月頃）

→菊池氏より以下①②の提案

①この 4/25 で、ネパール大震災 3 回忌（3 年目に入る日）になる。日本で 3 回忌は特別なことなので、何か「お祈りプログラム」のようなことをしたらどうか。

→5 月にネパール団体恒例のお寺イベント(八王子)があるが、そこと共催して行っては？

→百人規模の会なので、ハテマロ会が入っても、煩雑になり難しい。

→ゴータム：新井寺（浦安）なら、以前、他団体のプログラムでおこなったことがある。

→4/25 は平日のため、4/29（土）に。簡単なお祈りをしてもらえるよう、プラチャンダさんを通して確認してもらい、可能なら震災 3 回忌祈禱会（puja）を行う。（4/29）

→4/29 は寺院の都合が悪く、他日はメンバーが集まらないため、再考する。（4/7 現在）

②菊池氏が、2017 年 12 月 23 日～31 日に知り合いを連れてネパールに行く予定。ハテマロ会で一緒に行ける人がいれば、支援予定の寺院や学校を見学するプログラムなどができないか。

→スクマン氏：毎年末はネパールにいるので、参加可能。

→スラズ氏：行くことを検討してみる。

→小島：もし、その時期に支援校舎が完成するのであれば、行くことを検討したい。

→12 月中に校舎が完成するよう、働きかけてみよう。

→スクマン氏：知人田中まさこ氏より、Charimaya Tamang 氏（性的人身売買の被害者であり、活動家）のネパール人向け講演会(6/11 日)の開催運営を頼まれている。

→必要なら、ハテマロ会で運営支援をする。

(4) 2017 年度 予算 (案)

ラジブ氏：本日は予算案を準備できなかったが、今日相談してから予算案を作成するので、後日

確認してもらいたい。

昨年度は、震災支援を除くと、サメバジイベントの黒字約4万円が会の収入となる。

現在メンバーからの会費が望めないため、今年度も同程度の黒字を出し、それを本年度の本会の運営費としたい。

→復興支援を除けば、2016年度の経費は5万円未満なので、妥当である。

(5) 理事、担当役員について

2016年3月の総会で改選し、任期は2年のため基本的には継続とするが、活動状況を鑑み、一部、改選。

【ハテマロ会理事】

会長 : スラズ プロダン

副会長 : ラジブ シュレスト

企画 : ゴータム マハルジャン

会計 : ディープ ラトナ シャッキヤ

事務補佐 : 小島佳子

ネパール支部 : 高柳治信

理事 (担当なし) : 山上亜紀、ラビン シャッキヤ、プラチャンダ バジュラチャリヤ、
スクマン タマン (復帰再任)、ラタ シャッキヤ (新任)

顧問 : 北角虎男、菊池貞介、伊藤敏郎

*バラット マハルジャン氏 →本人に確認し、解任

5. 閉会&写真撮影

*18:30~「笑笑」にて、親睦会 (ラタ氏家族、ラジブ氏家族も参加)

以上